

総合メディア基盤センター設置2年を経て

総合メディア基盤センター長
長野 勇



平成12年4月に総合情報処理センター長を拝命した時は、社会がIT化時代に突入する寸前であり、国もe-Japan計画を発表し、すべての国民がIT技術を平等に享受できることを念頭にインフラの整備が謳われておりました。金沢大学においては多額の補正予算を得て、キャンパス全体を光ケーブルで接続し、ギガビットの高速ネットワークが構築されました。これは広辞苑を1秒で送れる伝送帯域に相当します。これにより、現在金沢大学では1万台のPCがネットワークに接続されているが、遅延なくそれらの通信を確保できております。

一方、全国の国立大学の計算機センターは、これまでの教育研究用の計算機を管理運営する組織から、キャンパスインテリジェント化を視野に入れた、大学のメディア全般を取り扱う組織へと改組に向かっておりました。金沢大学の総合情報処理センターについても、当時の学術担当副学長と共に、情報教育部門、学術情報部門、情報基盤部門の3部門の組織に改組する計画を立て、平成13年から14年に渡り、文部科学省学術情報課へ数度足を運びました。更に学長並びに事務局の支援を受け、平成15年4月より金沢大学総合メディア基盤センターに改組できました。これは大計センター（旧帝大）を除く国立大学中、千葉大学に続き全国6番目になります。旧組織では、教官2名、技官1名、事務官1名（現員）でありましたが、改組後は、学長の方針で、教官8名（教官3名学部より移動、教官1名新規公募採用、欠員1名）、技官3名（学部より1名移動、1名新規採用）、事務官1名に、大幅に増強されました。

改組して早2年が過ぎようとしておりますが、本広報で情報教育部門、学術情報部門、情報基盤部門の3部門がここ2年間で取り組んできた課題について報告されているように、当初の目的がひいき目なしに、80%強達成していると思います。特に、情報教育部門ではe-Learning推進プロジェクトが現代GPに採択され、情報教育のみならず一般基礎科目についてもe-Learning化を目指し、全学的に動かしております。また、全学生にパソコンを必携化することもまもなく実施されようとしております。情報基盤部門では、ネットワークのセキュリティ対策を強化し、全国でもトップクラスの信頼のおけるネットワークシステムを構築し運営をしております。学術情報部門では、金沢大学しか保有していない研究データベースの構築をしており、まもなく世界に発信する予定です。これまでに習得したデータベース構築技術は、金沢大学の各種データベース構築に活かされてきております。このような活動を行うにあたり、新たな課題も発生しております。センター教員はITに関する高度な専門知識を有しているため、キャンパスインテリジェント化に繋がるプロジェクト事業に大半の時間を費やしており、本来の教員としての教育や研究の時間が不足しています。日進月歩、急激に進歩を続けるIT技術の知識を吸収し研究していくためにも、ルーチンワーク的な業務は民間ができるならば、アウトソーシングすることも今後考えていくことも必要かと思っております。いまや、ネットワークは大学の教育・研究そして運営に欠かせないインフラになり、一時も止められないものであり、早朝から深夜までネットワークを監視し、不正アクセスの対応をしている情報基盤部門のスタッフには頭の下がる思いです。

最後に、金沢大学のネットワークの構築維持には多大な予算並びに多くのセンター教員以外のボランティアの支援

がありました。そして現在も協力していただいております。決して電子メールは無料でなく、はがきや手紙と変わらない料金が掛かっていることを認識していただき、効率よい、しかも安全なご利用をお願い申し上げます。総合メディア基盤センターは全教職員に愛され、役に立つ組織でありたいと願っております。そのためには益々のご支援そしてご協力をお願いいたします。

末尾になりますが、法人化後、総合メディア基盤センターは情報担当理事の統括に入り、緊急な課題に対する問題解決が大変スムーズに行われております。橋本理事をはじめとして関係各位にお礼を申し上げます。

■ 総合メディア基盤センターと KAINS の沿革

	金沢大学総合メディア基盤センター	金沢大学学術統合ネットワークシステム KAINS
1963	・理学部内に「電子計算機室」として発足。	
1971	・工学部に、建屋を新築して移設。 「金沢大学計算機センター」に改組。	
1977	・「金沢大学情報処理センター」に改組。 ・TSS サービス開始。	
1988		<ul style="list-style-type: none"> ・部局、研究室の予算で、イーサネットを用いた学内 LAN が構築される。研究室から図書検索システム等が利用可能となる。 ・kanazawa-u.ac.jp ドメインをクラス B で取得。 ・工学部電気・情報工学科の研究室と京都大学の間で、JUNET を用いた UUCP 接続が開始される。その後、情報処理センターが接続業務を引き受け、京都大学計算機センターとの間を N1 ネットで接続。常時接続化される。
1989		<ul style="list-style-type: none"> ・BITNET と接続 ・文部省宇宙科学研究所（現、JAXA）よりルータを貸与され、N1 ネットを用いてインターネット開通。 ・学術情報ネットワーク（SINET）に加入。
1990	・「金沢大学総合情報処理センター」に改組。 省令施設となる。	
1994		<ul style="list-style-type: none"> ・光ループ LAN 設置。 各キャンパスに多重化装置および電話交換機 ISPBX を設置。 金沢大学学術統合ネットワークシステム（KAINS）誕生。
1996	・角間キャンパスに建屋を新築して移設。	<ul style="list-style-type: none"> ・各キャンパスに ATM スター型 LAN を設置。 ・各研究室に情報コンセントを設置。
2000		<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパス間を ATP 専用回線で高速化。
2001		<ul style="list-style-type: none"> ・ギガビットネットワーク稼働開始
2002		<ul style="list-style-type: none"> ・角間一宝町、小立野間を 100Mbps に高速化。
2003	・「総合メディア基盤センター」に改組。 現在の 3 部門構成となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・SINET との接続が 1Gbps に高速化される。 ・JAXA と Super SINET で接続